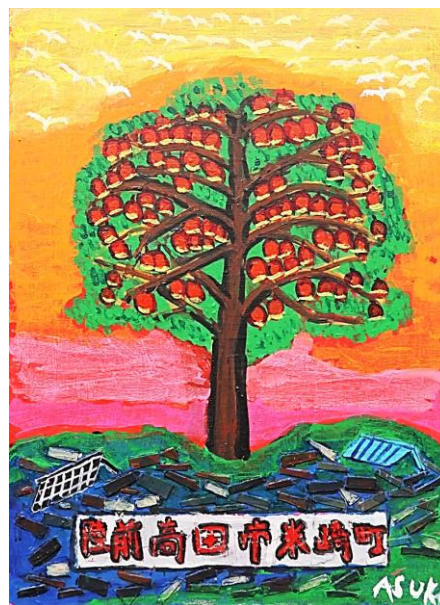


2015年8月4日
NEC ネットズエスアイ株式会社

岩手県陸前高田市のコワーキングスペース「ひまわりハウス」で
地元岩手在住の画家、水沼久直さん、田崎飛鳥さんの絵画展を開催します



水沼久直「完全な復活の津波」



田崎飛鳥「祈り 米崎町」

NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区 代表取締役執行役員社長：和田雅夫 東証 1973、NESIC）は、被災地の方々にご利用いただくコワーキングスペースとして岩手県陸前高田市に設置した「ひまわりハウス」において、8月11日（火）より、地元在住の画家、水沼久直さん、田崎飛鳥さんによる「二人展」を開催いたします。

水沼さんは岩手県二戸市生まれで、現在は同矢巾町に住んでいます。幼いころからクレヨンなどで絵を描くことを楽しんでいましたが、高校時代に油彩画に出会い、その後、サインペンによる描画を始め、色彩の精緻なハーモニーに満ちた小品を精力的に生み出し始めました。神戸に住む叔父が阪神大震災の際に被災、今度の東日本大震災では大船渡市に住んでいた伯父と伯母を津波で亡くしました。水沼さんは、幾たびも、津波の光景や神戸や雲仙・有珠山などの大災害の様子を描いてきましたが、やがて震災からの再生を表した「完全な復活の津波」を制作しました。現在までに、2002年「第5回いわて・きららアート・コレクション奨励賞」、2009年「第12回いわて・きららアート・コレクション優秀賞」を受賞、2012年には「アール・ブリュット・いわて展（岩手県立美術館）」へ出展するなど精力的に活動しています。

田崎さんは埼玉県生まれで、中学生の時に家族と陸前高田市に移り住みました。幼い頃

から絵画を始め、18歳の時には、「第3回いわて・きららアート・コレクション優秀賞」、「第8回岩手県障害者文化芸術祭佳作入選」など、作品づくりに才能を発揮していました。しかし、東日本大震災で自宅が津波で流され、200点以上の全ての作品が流失し、しばらくは絵を描くことができませんでした。しかしながら、その後、奇跡の一本松を描いた「希望の一本松」をはじめ、震災を題材とした絵画を中心に創作活動を再スタート。現在は震災のテーマを離れ、幸福を呼ぶフクロウなどを身近な人々の安らぎを願いながら描いています。現在までに、2012年「アール・ブリュット・いわて展」（岩手県立美術館）、2014年Get in touch展（六本木ヒルズ）への出展など、活動を展開しています。

ひまわりハウスでは、昨年、被災後、展示スペースが減ったために、地元の方々に作品を見ていただく機会が少なくなってしまった田崎さんの絵画展を開催しました。18日間の期間中に市内外から述べ386名もの方々にお越し頂き、作品を描いている様子の動画と合わせ、来場された方々に、大きな印象を与えました。

今回は、震災後4年経った今もなお多くの人の心に傷を残した悲惨な災害を風化させないという地元の方々の思いから、新たに水沼さんを加えた二人展として、継続開催することとしたものです。被災された方々の気持ちや復興の象徴などを表現してきた二人が描き出す世界をコラボレーションし、復興に向けたメッセージとしてご紹介いたします。

ひまわりハウスは、これまでも復興へ向けて活動する様々な方々の活動拠点として活用いただいております。美術関連のイベントは昨年に続き2回目の試みですが、震災を経てもなお、前向きに作品に取り組む2人の、過酷にして、なおもゆったりと広がる魅力に満ちた世界をご覧くださいることにより、地元の方々の励みになればと考えております。

<開催概要>

期間： 8月11日（火）～8月31日（月）11:00～19:00（日曜日休館）

場所： コワーキングスペース「ひまわりハウス」

岩手県陸前高田市竹駒町字十日市場 3-2

電話（0192）55-4101

展示作品数： 約12点

※なお、展示開催中も、ひまわりハウスは通常通りにご利用いただけます。

以上

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として
お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>
CSR コミュニケーション部 コーポレートコミュニケーショングループ
電話 : (03) 6699-7007
E-Mail : contact@dm.nesic.com